



朝日庄内の風」

(令和 3 年 度 総 集 編)

第 27 号
令和4年3月28日発行

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404

山形県鶴岡市下名川字落合3

TEL:0235-58-1730

FAX:0235-58-1731

E-mail: t_syounai_f@maff.go.jp

HPは下記QRコードへ



朝日自然塾 カッチャバ湿原の昆虫観察・大井沢で一日昆虫博士

令和3年6月19日(土)に西川町大井沢区にて、6組15名で実施しました。

当日は、雨の降る中でしたが、西川町大井沢区、西川町自然と匠の伝承館及び庄内森林管理署の協力得て開催しました。

最初に、講師による、標本観察と昆虫の面白い話を聞いてから、いざカッチャバ湿原へ。

湿原は、あいにくの雨模様でしたが、雨合羽に長靴及び虫取り網の完全装備で自然観察へ、沼では、クロゲンゴロウ、コオイムシ、ヤゴに産卵中のモリアオガエル等、様々な水辺の生き物を観察することができました。

雨の中、終了時間が来てもなかなか怖らたがらないお子さんも出るなど、里山の自然を楽しんでいました。



標本観察と昆虫の話



カッチャバ湿原での観察の様子



モリアオガエル(産卵中)



ヘラクレス

朝日自然塾 みんなで歩こうタキタロウへの道(大鳥池登山)

令和3年7月8日(木) 鶴岡市立あさひ小学校の大鳥自然教室として5年生児童23名、教職員6名、スタッフ13名、総勢42名で実施しました。

出羽三山の自然を守る会より講師の安全に登山するためのお話、体操のあと、梅雨時期で天気が心配されましたが、児童達の元気に雨雲も吹き飛ばし出発です。

岩場や小沢の中など足場の悪いいくつもの難所をスタッフのサポートを受けながら、班ごとにお互いを励まし合いながら歩きました。

道中人里ではあまり見られない植物、大木、昆虫、地形、水の働き等をスタッフの説明を聞き、驚きながら観察していました。

小雨の中最後の急斜面、七曲がり息を切らしながら登り切ると、伝説のタキタロウが棲むという大鳥池が、霧が漂う山々を従えて待っていました。その雄大さと達成感で歓声があがりました。

森林の働きやそこに住む動植物、山でのルールなど、普段教室では学べないことを体験し、朝日山地の奥深さを知る一日となりました。ふるさとの自然を体験したことが、仲間を思いやる気持ち、身近な自然への関心、心のエネルギーとなることを期待しています。

出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟及び庄内森林管理署の方々にスタッフとして、ご協力いただき大変ありがとうございました。



登山開始!



危険な箇所も乗り越えて



揺れながら吊り橋を渡ります



記念撮影!



あさひ小学校5年生が広葉樹更新補助作業を実施

7月9日(金)鶴岡市あさひ小学校5年生 23 名が、朝日山地森林生態系保護地域内(保全利用地区)でスギ人工林から天然生林へ誘導するための補助作業として、スギの伐倒・枝払いを行いました。

「朝日の豊かな自然や文化に親しむ」等をねらいとして、あさひ小学校では森林生態系保護地域で森林保全活動を行っています。

6月24日には、前出の大鳥池登山の説明とともに森林・森林の働きや森林の整備について事前学習を行いました。

当センター職員が、作業前に森林整備の必要性、作業手順、安全に作業するための注意事項を説明を行い、立木を手鋸で伐倒するので、いつも以上に集中力が必要なことから、児童達は真剣に聞いていました。

庄内森林管理署からも応援をいただき、4班編制で各班1本間伐します。受け口作りから始めますが、斜めの線と水平の線を一致させることに苦勞しました。

挽いても挽いてもなかなか倒れません。

体力の限界に達したら交代しながら、遂に伐倒、小さな木ですが、木が倒れる時の音、迫りにちょっとビックリします。

林床に光いを当て、実生による更新や稚樹が成長しやすいように、枝を払い、幹を玉切りしました。伐倒木の小片は自分や家族へのお土産となりますが、コースターを取る子や枝付きの部分を取る子など様々です。

鶴岡市朝日地区は森林率が高い地区ですが、普段暮らしている場所の上流にある森林で、作業を行ったことは、自分達が暮らしている地域を知るよい機会になったことと思います。



当日の作業風景



児童達で、伐倒スタート



児童達による森林整備風景



先生も頑張って伐ります



記念撮影！

朝日自然塾フロが教えるイワナ釣り

朝日自然塾「フロが教えるイワナ釣り」は、7月22日(木・祝)に鶴岡市大島の東大島川で、10組25名が参加してくれました。受付で事前をお願いしていた当日の体温など感染症拡大防止のためのチェックシートを記入してもらい釣りのスタートです。

山形県溪流釣り協議会会長より、安全に楽しく溪流釣りを行うためのお話の後、強烈な日射しと曇りの中、4班に分かれ溪流釣り開始です。曇りのため、参加者の体調を考慮して、場所をタキタロウ館前の釣り堀池に移動して、イワナ・ニジマス釣りに挑戦しました。

思いのほか強い竿の引きに、歓声を上げながら、釣り上げます。釣った魚は、講師の指導を受け自分たちで上手にさばく子居て親もビックリです。

お昼時には、スタッフが汗だくになりながら、焼いたイワナの炭火焼きを口いっぱいほおぼっていました。

おいしいと毎年大好評です。

午後は、過密にならないように、注意しながら、世界で一つのオリジナル毛針作り等を楽しみました。

世界に一つだけの毛針作りは、講師がいかにしてイワナを上手にだますか、水生昆虫や陸生昆虫の生態、イワナの習性等の話を交えながら、マンツーマンで作っていきます。

釣り堀では、イワナ釣りにチャレンジを行い、その後、「イワナに関するおきの話」として貴重な体験談やイワナと森林の関係などを講師から教わり、イベントを終了しました。

曇りのため、溪流釣りの時間が短くなり、釣果のなかった人もいましたが、コロナ禍の中、それぞれに野外活動を楽しまれたようです。

今回の自然塾では、山形県溪流釣り協議会、鶴岡市朝日庁舎及び庄内森林管理署の皆さんに、ご協力いただき大変ありがとうございました。



開会式の様子



大物が釣れるかな？



上手にさばけてお母さんもビックリ



裏方さん：暑い中のイワナ炭火焼き



世界に一つだけの毛針を作ります



釣り堀ので様子



最後に集合写真
野外で楽しく過ごせました

山形大学学生と試験地の植生調査

当センターでは、朝日山地森林生態系保護地域保全利用区域内にあるスギ人工林を針広混交林に誘導する取組を実施しています。

10月13日に山形大学農学部菊池准教授並びに学生3名の協力を得て、植生調査を実施しました。

調査は、天然生林に誘導するために必要・効果的な作業を検証するため、下刈・つる切り・除伐の有無による広葉樹の成長(樹高、胸高直径)・枯損、樹種・生活型の変化(被度)を記録しています。

また、周辺から山取りし、植栽した広葉樹稚樹の生存状況を記録しています。

現段階では、設定後の期間が短いため、作業種の違いによる大きな変化は見られていませんが、今後も推移を継続調査していきます。



低木の樹種の同定が難しい



大きくなってきた広葉樹のサイズを計測中

オオハンゴンソウの除去作業

オオハンゴンソウは、「生態系、人の生命もしくは身体または農林水産業に被害を及ぼす外来種」である特定外来生物に指定されています。

大量の休眠種子による土壌シードバンクの形成や地下茎からの茎の叢生により強い繁殖力があり、駆除が困難で他種を駆逐し、優占してしまい在来植物に大きな影響を与えています。

保全利用区域の林道沿いの空き地に限定的に生育しており、平成30年度より除去作業を行っています。

これまでは、花期前の7月下旬に猛暑の中除去していましたが、再生数も多く、より効果を高めるため、今年度は栄養を十分に蓄積する前と思われる5月23日に除去しました。



雨の中での作業



除去したオオハンゴンソウ

オオハンゴンソウの除去方法を比較するフロッツ

令和3年6月14日には、令和2年度に設定したオオハンゴンソウの除去方法を比較するフロッツについても除去作業を行いました。



A2試験地(根茎処理区)



A2試験地(根茎処理区)
除去後

大鳥池への登山コースのショートカット規制

幻の魚タキタロウが棲むと言われる大鳥池は、7十等の巨木の森を通して、3時間程度で登れる気品あふれる山上湖です。

朝日山地の北の名峰以東岳に通じ、縦走ルートにもなっており、登山者の多い主要ルートの一つとなっています。急斜面になる箇所では、つづら折りの歩道になっており、ショートカットして法面を歩行することを規制するため、本格的な登山期の前にトラロープと標識を設置しています。



ショートカット規制注意標識取り付け作業

以東岳合同パトロール及びオツボ峰植生保護作業

令和3年8月7日(土)～8日(日)にかけて、以東岳合同パトロール及びオツボ峰植生保護作業を実施しました。

以東岳に至るオツボ峰は風衝地であるため、植生が脆弱で、登山者の踏圧による植生の後退が非常に懸念される場所です。当センターでは、植生地への立入りを規制するため、ロープと鋼杭を設置する作業を実施しております。

今回は例年単独で実施していたオツボ峰植生保護作業を、合同パトロールと兼ねて実施しました。協力いただいた皆様のおかげで、作業は非常にスムーズに進みました。また、ゴミの投棄や高山植物の盗掘等の異常も見られませんでした。

朝日センターでは、今後も関係団体の皆さんの協力をいただきながら、朝日山地の貴重な生態系を保全するため取り組んでまいります。



オツボ峰植生保護作業



オツボ峰植生保護作業

スノーモービル乗り入れ規制パトロール

月山周辺域へのスノーモービルの乗り入れは、自主ルール「月山特別ルール」に則り、国立公園特別保護地区、森林生態系保護地区への乗り入れ禁止、乗り入れ地点の限定、樹木の損傷禁止等自然環境の保護等を行いながら利用しています。

ルール、マナーの遵守状況、鳥獣、自然環境への影響の有無等を確認するため、関係機関と連携しながらパトロールを行っています。

今シーズンは暖冬少雪であったこともあり、3月24日、27日、4月7日、15日に合同及びセンター単独でのパトロールを行いました。

樹木の損傷、乗り入れ自粛区域への乗り入れ等の問題行為は、確認されませんでした。



乗り入れ利用区域内の走行跡

新型コロナウイルス感染症対策で計画を変更した業務

当センターが主催または事務局を務めるイベント、会議等で新型コロナウイルス感染症の影響を受けた業務と実施状況をお知らせします。

1. 会議

- (1) 東北森林管理局保護林管理委員会 朝日山地森林生態系保護地域部会 Web 開催で実施 (令和3年5月27日)
- (2) 朝日山地森林生態系保護地域 巡視員会議 (春期) 書面開催で実施 (令和3年6月)
- (3) 朝日山地森林生態系保護地域 巡視員会議 (秋期) 出席者を限定し、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施 (令和3年11月27日)



巡視員会議 (秋季) 会議風景



巡視員会議 (秋季) 会議風景

- (4) 朝日自然塾連絡協議会 出席者を限定し、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施 (令和4年1月21日)



朝日自然塾連絡協議会会議風景



朝日自然塾連絡協議会会議風景

2 森林環境教育系のイベント (新型コロナウイルス感染症の影響で中止)

- (1) 朝日自然塾第四回 「森に入って森の営みを探そう」
- (2) 朝日自然塾第五回 「かんじきトレッキング&めのうでアクセサリーづくり」

3 西荒瀬保育園「みどりの保育園」推進事業への講師派遣

朝日庄内森林生態系保全センターでは、4月「きのこの駒打ち」、5月「クロマツ探検隊」12月「松ぼっくりクリスマスツリー」で職員の派遣を行いました。



みどりの保育園 きのこ駒打ち



みどりの保育園 クロマツ探検隊



みどりの保育園
まつぼっくりのクリスマスツリー作り